

ヨコレイ NOTE VOL.30

第76期中間報告書

2022年10月1日～2023年3月31日

ごあいさつ・財務ハイライト P1

What's ヨコレイ VOL.11 P1

営業の概況・事業別の概況 P3

中間連結財務諸表(要約) P4

会社情報 P5

ヨコレイNEWS P6

「食の安全・安心」が

家族の笑顔をつくる



「人」に「もの」に「地球」に “やさしい” 食品流通のエキスパート

株主の皆さまにおかれましては、日ごろより格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。当社は、2023年5月13日で創立75周年を迎えました。これまで当社を支えていただいた皆さまに深く感謝申し上げます。

第76期中間期（2022年10月1日～2023年3月31日）は、インバウンド需要の急回復はあったものの、相次ぐ値上げにより個人消費は抑制傾向が続き、厳しい経営環境となりました。このような状況のなか、当社グループは2030年に向けた長期的方針「ヨコレイ事業ビジョン2030」および「サステナビリティビジョン2030」実現に向け、2023年を最終年度とする中期経営計画（第1期）「創る力」に基づき、冷蔵倉庫事業は「事業モデルの創造」、食品販売事業は「新たな食の価値の創出」を方針とし、各重点戦略に取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間の連結経営成績は、売上高63,271百万円（前期比15.3%増）、営業利益1,697百万円（前期比29.8%減）、経常利益1,992百万円（前期比34.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,190百万円（前期比41.4%減）となりました。

創立75周年を記念して株主の皆さまへ感謝の意を表し、当連結会計年度の期末配当において1株当たり1円の記念配当を実施し、年間配当額を1株当たり24円とする予定です。株主の皆さまにおかれましては、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 松原 弘幸

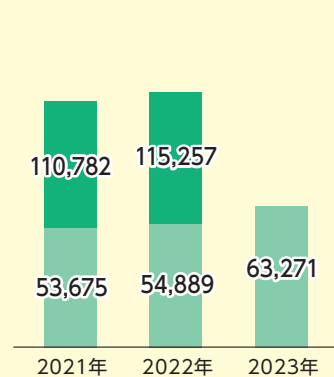
外観デザインの こだわりポイント

.....
黄・黄緑・濃ピンクの3色の
アクセントカラーを取り入れ、
千葉県の県花「菜の花」と
千葉市の市花「大賀ハス」を
表現しています。

財務ハイライト

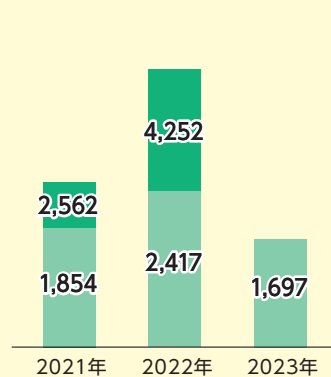
売上高 (百万円)

■ 中間 ■ 通期



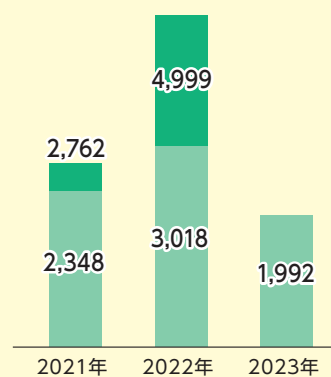
営業利益 (百万円)

■ 中間 ■ 通期



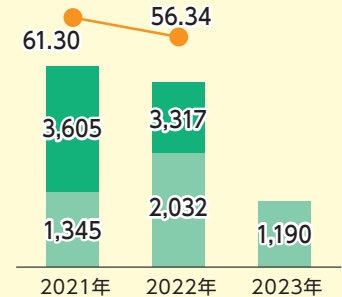
経常利益 (百万円)

■ 中間 ■ 通期



親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益(百万円) / 1株当たり当期純利益(円)

■ 中間 ■ 通期 ● 1株当たり
当期純利益





ちばリサーチパーク物流センター

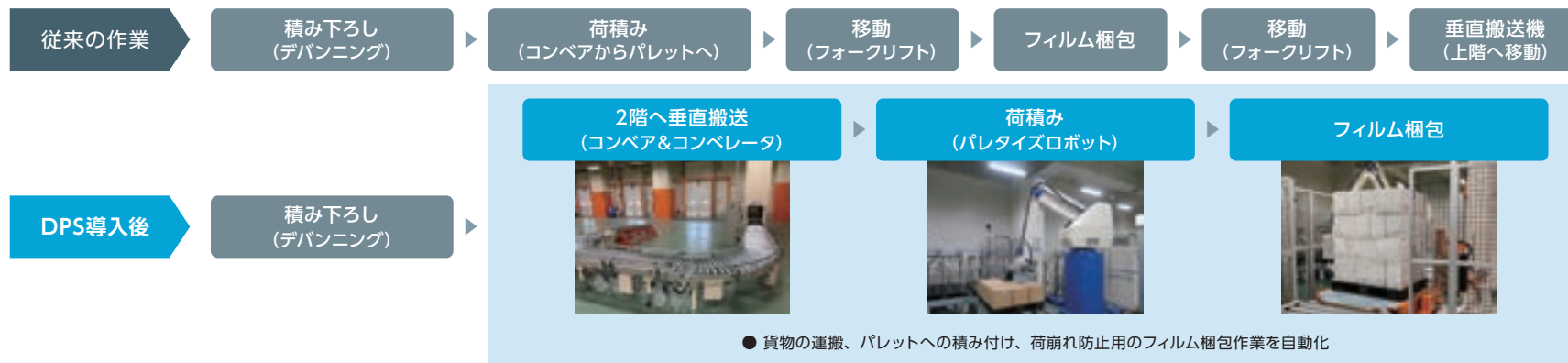
2023年3月、千葉県千葉市のちばリサーチパーク内に「ちばリサーチパーク物流センター」を竣工しました。東関東自動車道の佐倉ICから約6km、都内だけでなく圏央道を経由して北関東や東北地区へもアクセス可能な物流の要衝の地です。ちばリサーチパーク物流センターのコンセプトである「省人化・省力化に特化した、地球にやさしい最新鋭の次世代型冷蔵倉庫」を体現するため、同センターには当社初となる設備・システムを複数導入しました。



ちばリサーチパーク
物流センター

- 住所 千葉県千葉市若葉区上泉町958番10
- 収容能力 30,475 t
(F級：27,583t C&F級：1,870t C級：1,022t)

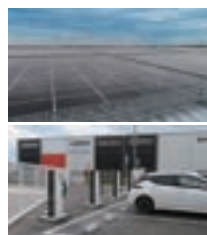
「次世代」の省人化・省力化システムを初導入



パレタイズロボットを使用した「デバンパレタイズシステム (DPS)」を当社で初めて導入しました。トラックコンテナから荷下ろしした貨物の運搬からパレットへの積み付け、荷崩れ防止用のフィルム梱包までの一連の作業を自動化。従来の半数以下の人員で作業が可能となり、大幅な省人化・省力化を実現しました。

太陽光発電と蓄電システムによるBCP対策の充実

当社最大規模の太陽光パネルと大容量リチウムイオン蓄電池を導入しました。自立運転機能付パワーコンディショナーを初めて採用し、停電時でも太陽光パネルで創った電気を使用できるようにしました。これにより、非常時でも冷蔵倉庫の冷却が可能です。また、当社初となる電気自動車 (EV) 充電ステーションを5台分設置。太陽光発電で得た電力を供給し、EVの充電を行えるほか、停電時にはEVを非常用電源としても利用できるなど、BCP対策にも力を入れています。



環境への取り組みに対する外部評価

建築物の環境への取り組みレベルを評価・格付けするCASBEEの総合評価ランクでA (大変良い) を取得しました。消費エネルギーを最小限に抑えるために、断熱性の高い外壁材や外部からの熱負荷を軽減する窓ガラス等を採用。環境性能に優れた建築物として評価されました。また事務所棟は、当社初となるZEB評価[※]を取得しました。空調機器や照明設備等の省エネ化により消費電力を従来比で50%以上削減するとともに、太陽光発電による50%以上の創エネを実現し、建物のエネルギー消費量の収支をゼロ以下にします。

※ ZEBとはNet Zero Energy Building (ネット・ゼロ・エネルギー・ビル) の略称。快適な室内環境を実現しながら、省エネと創エネを組み合わせることで建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを旨とした建物のこと。

営業の概況・事業別の概況



営業の概況

当中間期の概況

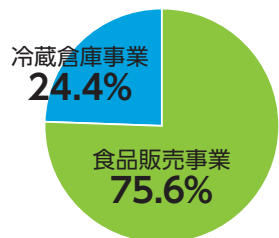
金利上昇や物価上昇が続いており、先行き不透明な状況が継続。食品業界は、相次ぐ値上げにより消費マインドの改善は当面見込みにくい厳しい経営環境。

「ヨコレイ事業ビジョン2030」および「サステナビリティビジョン2030」実現に向け、2023年を最終年度とする中期経営計画(第1期)「創る力」に基づき、冷蔵倉庫事業は「事業モデルの創造」、食品販売事業は「新たな食の価値の創出」を方針とし、各重点戦略に取り組む。

事業別売上高構成比

当中間期(2023年9月期)
売上高合計

63,271百万円



今期の見通しと業績予想について

下期以降も電気料金や原材料価格の高騰等、厳しい事業環境が継続すると想定されますが、コスト上昇分の価格転嫁を進めるとともに、引き続き中期経営計画の各種施策に注力し、目標達成を目指してまいります。以上をふまえ、通期(本中期経営計画最終年度)の業績予想は下記の通りとします。

売上高	1,240	億円
営業利益	50	億円
経常利益	52	億円
親会社株主に帰属する当期純利益	34	億円
1株当たり当期純利益	57	円74銭

事業別の概況

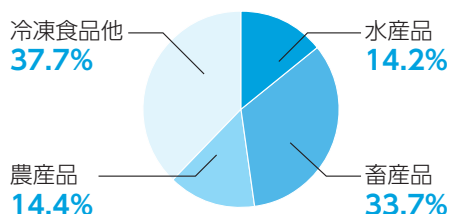
冷蔵倉庫事業

行動制限が緩和され、在庫量、出荷量、在庫数量ともに前期を上回り増収となったものの、想定を上回る電気料金の高騰や「ちばりサーチパーク物流センター」の立ち上げに伴う一時経費増加により減益。

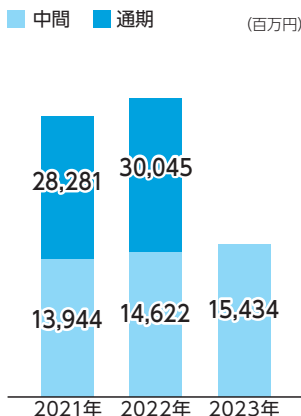
タイの連結子会社THAI YOKOREI CO.,LTD.は、在庫回転率が上がり在庫量・出荷量ともに前期を上回ったものの、チキンを中心に在庫水準が低下、電気料金の高騰もあり減益。

当事業の業績は、売上高15,434百万円(前期比5.6%増)、営業利益3,253百万円(前期比4.8%減)の増収減益。

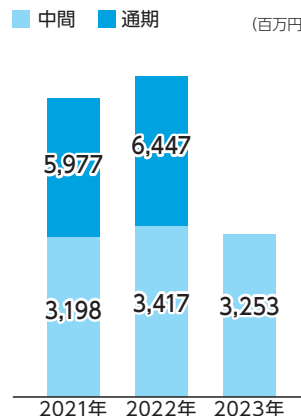
当中間期在庫量品目別割合



売上高



営業利益



食品販売事業

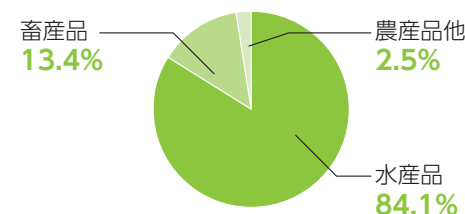
水産品は、サーモンの販路拡大が順調に進展。その他主要品目である輸入サバ、イカ、ウナギ等の販売が増収増益で推移し、ペルーのイカやトビコの三国間貿易も好調。しかし、エビは需給バランスの崩れ、カニはアメリカのロシア産輸入禁止措置により相場が下落。国産サバは過去にない不漁となり、水産品カテゴリ全体では増収減益。

畜産品は、ポークが量販店への販路拡大および外食向け需要の回復により販売を伸ばしたものの、チキンの相場下落により増収減益。

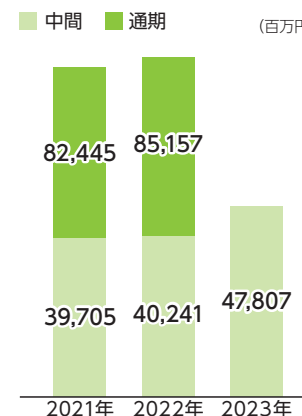
農産品は全体的に不作ながらも、イモ類の取扱量増加により増収増益。

当事業の業績は、売上高47,807百万円(前期比18.8%増)、営業利益470百万円(前期比32.6%減)と増収減益。

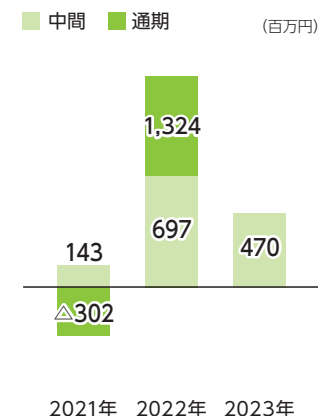
当中間期品目別売上高構成比



売上高



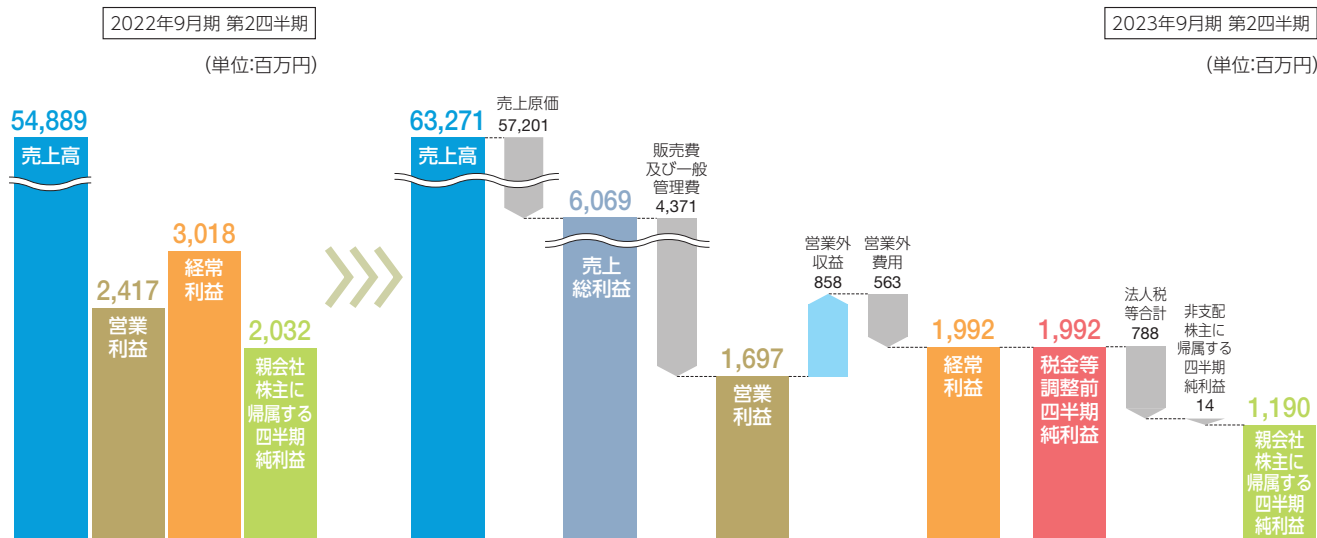
営業利益



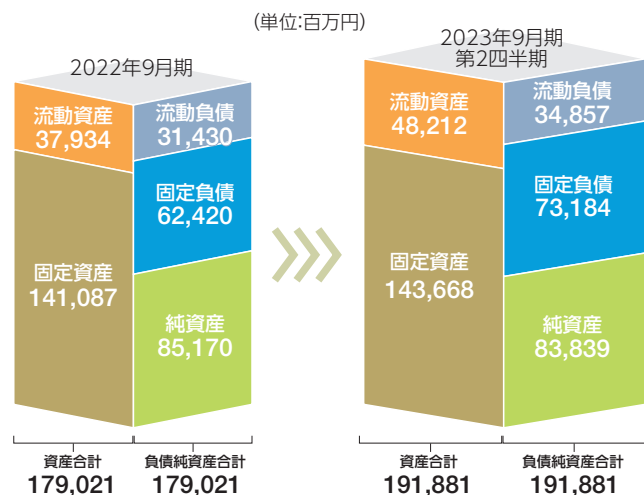
中間連結財務諸表(要約)

中間連結財務状況

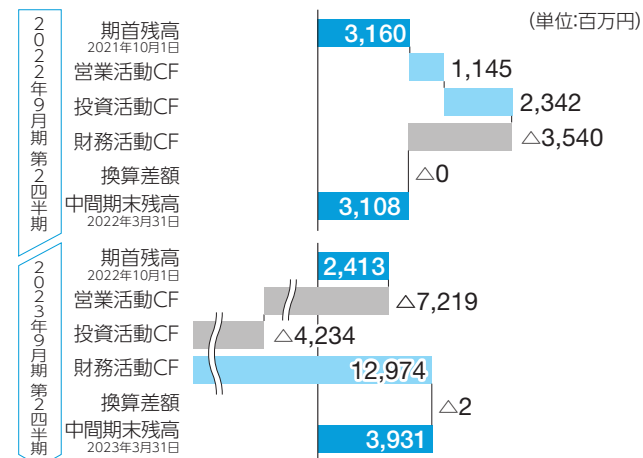
◆ 損益の状況



◆ 資産・負債・純資産の状況



◆ キャッシュ・フローの状況

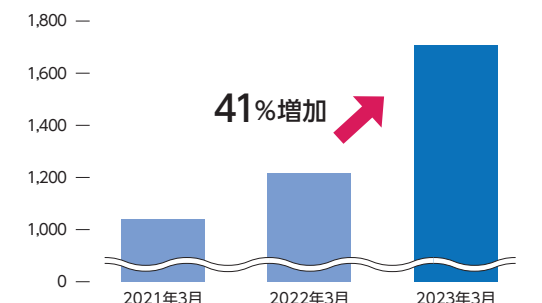


もっとくわしく!

POINT 1 電気料金高騰により動力費が大幅に上昇

冷蔵倉庫事業は、昨今の電気料金の高騰の影響を大きく受け、163百万円の減益となりました。動力費は、前年同期比で45%増、収容能力あたりの動力費も41%増と大幅に上昇しています。今後も厳しい状況が続くものと想定されますが、省エネ設備・機器類を最大限に活用してコスト削減を図るとともに、電気料金増加分の価格転嫁を進め、利益の確保に努めてまいります。

■ 収容能力あたりの動力費推移 (百万円)



POINT 2 新設物流センターへの設備投資

ちばりサーチパーク物流センターのほか、来年以降に竣工予定の恵庭スマート物流センター(仮称)、夢洲第二物流センター(仮称)、箱崎物流センター(仮称)等の設備資金調達により、長期借入金前期末比で113億円増加しました。

■ 長期借入金 (百万円)



会社概要

会社名 横浜冷凍株式会社

本社所在地 〒220-0012
 横浜市西区みなとみらい三丁目3番3号
 横浜コネクトスクエア10階
 TEL: 045-210-0011 (代表)
 FAX: 045-210-0018

設立 1948年5月13日

資本金 14,303,426,625円

従業員数 連結 1,620名 単独 1,296名

- 事業内容
1. 冷蔵倉庫業並びに普通倉庫業
 2. 水産品の加工、販売並びに輸出入
 3. 農畜産物の加工、販売並びに輸出入
 4. 通関業
 5. 養殖業
 6. 製氷業
 7. 貨物利用運送事業並びに貨物自動車運送事業
 8. 不動産賃貸業
 9. 食堂及び喫茶店の経営並びに飲食物の販売
 10. その他前各号に付帯関連する一切の事業

役員および執行役員

代表取締役会長	吉川 俊雄	監査役(社外)	宗像 久男
代表取締役社長	松原 弘幸	執行役員	千田 重賢
取締役副社長	井上 祐司	執行役員	岩倉 正人
常務取締役	越智 孝次	執行役員	池田 浩人
取締役	吉川 尚孝	執行役員	内山 卓爾
取締役	花澤 幹夫	執行役員	星野 義明
取締役	古瀬 健児	執行役員	織田 政和
取締役	岡田 洋	執行役員	中尾 成人
取締役(社外)	酒井 基次	執行役員	根岸 尚登
取締役(社外)	堀合 洋祐	執行役員	星 光孝
取締役(社外)	本田 光宏	執行役員	小松 晃子
取締役(社外)	坂本 順子	執行役員	伊豆 肇
常勤監査役(社外)	井上 啓造	執行役員	関 晋也
常勤監査役(社外)	林 修三	執行役員	吉田 郷
監査役(社外)	棚橋 栄蔵		

ネットワーク (2023年4月1日現在)

冷蔵倉庫事業 50拠点

- 北海道・東北ブロック
 十勝物流センター
 十勝第二物流センター
 十勝第三物流センター
 石狩物流センター
 石狩第二物流センター
 八戸物流センター
 気仙沼ソーティングスポットI
 気仙沼ソーティングスポットII
 仙台物流センター
圏央ブロック
 加須物流センター
 加須第二物流センター
 幸手物流センター
 鶴ヶ島物流センター
 伊勢原物流センター
 つくば物流センター
 ちばりサーチパーク物流センター
京浜ブロック
 東京羽田物流センター
 東京物流センター
 東京第二物流センター
 大黒物流センター
 横浜物流センター
 横浜みらいサテライト
 山内物流センター
中京・東海ブロック
 沼津物流センター
 大井川物流センター
 名港物流センター
 小牧物流センター
 名古屋物流センター
 中川物流センター
阪神ブロック
 夢洲物流センター
 北港物流センター
 舞洲物流センター
 西淀物流センター
 六甲物流センター
九州ブロック
 福岡ISLAND CITY物流センター
 福岡物流センター
 鳥栖物流センター
 鳥栖第二物流センター
 唐津ソーティングスポット
 長崎物流センター
 長崎ソーティングスポット
 佐世保ソーティングスポット
 都城物流センター
 都城第二物流センター
 志布志物流センター

- 鹿児島物流センター
 川辺物流センター
 枕崎ソーティングスポット
 山川物流センター

食品販売事業 25拠点

- 札幌営業所
 十勝営業所
 東日本畜産営業部
 名古屋出張所
 西日本畜産営業部
 福岡出張所
 海外営業1部
 海外営業2部
 海外営業3部
 海外営業4部
 東京営業所
 名古屋営業所
 沼津出張所
 大阪営業所
 気仙沼営業所
 仙台営業所
 八戸出張所
 銚子営業所
 茨城営業所
 福岡営業所
 唐津営業所
 佐世保出張所
 長崎営業所
 枕崎営業所
 販売管理部

通関事業 5拠点

- 東京通関部
 横浜通関部
 大阪通関部
 神戸通関部
 九州通関部

連結子会社

- THAI YOKOREI CO.,LTD.(タイ)
 ワンノイ物流センター
 ワンノイ物流センター2号棟
 パンパコン物流センター
 パンパコン第2物流センター
 サムロン物流センター
 BEST COLD CHAIN CO.,LTD.(タイ)
 VIETNAM YOKOREI CO.,LTD.(ベトナム)

株式の状況

発行可能株式総数 160,000,000株
 発行済株式の総数 59,266,684株
 株主数 14,228名

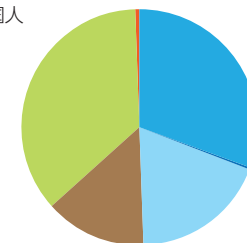
大株主(上位10名)

大株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	7,193	12.19
株式会社松岡	2,569	4.35
第一生命保険株式会社	2,205	3.73
株式会社横浜銀行	2,176	3.69
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,974	3.34
農林中央金庫	1,473	2.49
株式会社八丁幸	1,411	2.39
横浜冷凍従業員持株会	1,296	2.19
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	1,156	1.96
株式会社サカタのタネ	1,022	1.73

(注) 持株比率は自己株式(275,069株)を控除して計算しております。

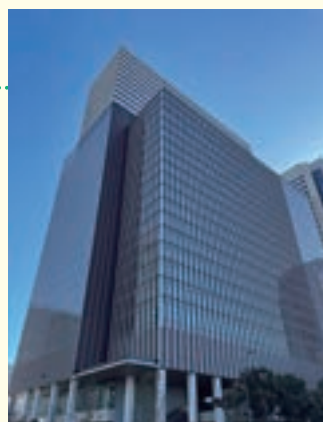
所有者別株式分布状況

- 金融機関 18,118千株 30.6%
- 金融商品取引業者 317千株 0.5%
- その他の国内法人 10,914千株 18.4%
- 外国法人・外国人 8,191千株 13.8%
- 個人・その他 21,449千株 36.2%
- 自己名義 275千株 0.5%



本社を移転

2023年3月27日に本社を移転しました。新オフィスは、みなとみらい駅徒歩4分、桜木町駅からペDESTリアンデッキで徒歩7分の場所に位置する横浜コネクトスクエア内にあります。BCP(事業継続計画)に優れた構造・設備により、社員の安全性確保と事業継続を可能にするとともに、オフィスを最適化し、業務の効率化を図ってまいります。



●新住所

〒220-0012
横浜市西区みなとみらい
三丁目3番3号
横浜コネクトスクエア10階

●交通アクセス

みなとみらい線
「みなとみらい」駅徒歩4分
JR・横浜市営地下鉄ブルーライン
「桜木町」駅徒歩7分

株主還元方針

■配当方針

当社は、株主の皆さまに対する利益還元の実施を重要な経営課題の一つとして認識し、企業価値向上に必要な設備・IT投資等を勘案しつつ、安定的な配当を継続して行うことを基本方針としています。

1株当たり年間配当金
24円 (中間配当金)
予定 (11.5円)

■株主優待

株主の皆さまからの日頃のご支援に対する感謝と、ヨコレイグループの事業内容へのご理解をより一層深めていただきたいとの思いから、年1回、以下の基準にて、ヨコレイグループ取扱商品を使用した株主優待を実施しています。

ご優待内容*1および対象となる株主様

① 3,000株以上かつ1年以上 保有の株主さま*2

「北海道産のホタテ・いくらセット」

② 1,000株以上~3,000株未満かつ1年以上 保有の株主さま*2

「ノルウェー産サーモントラウト製品詰合せ」

③ 100株以上 保有の株主さま

株主様向けECサイトでの商品購入権



●実施時期

11月下旬頃~

*1 ご優待内容は2022年9月期の実績です。内容・パッケージ等が変更になる場合がありますので、ご了承ください。

*2 9月30日現在の当社株主名簿に記載または記録された当該株数保有の株主様のうち、1年以上同じ番号で継続して当社株式を保有されている株主様が対象となります。

株主メモ

事業年度	10月1日より翌年9月30日まで
定時株主総会	12月 定時株主総会の議決権 9月30日 剰余金の期末配当 9月30日
基準日	剰余金の中間配当 3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告した日
公告の方法	電子公告 ※電子公告は当社ホームページに掲載します。なお、やむを得ない場合は日本経済新聞に掲載します。 https://www.yokorei.co.jp/investors/publication/index.html
単元株式数	100株
上場取引所	東京証券取引所(プライム)
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先	東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711(通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

(ご注意)

- 株主さまの住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記載された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ホームページのご紹介

▶ <https://www.yokorei.co.jp/>

ヨコレイのホームページでは当社の最新ニュースや事業紹介に加え、IR情報が一目でわかる財務ハイライトなど、個人投資家の皆さまに当社を深くご理解いただけるよう、様々なコンテンツをご用意しております。

また、環境への取り組みや社会貢献活動、コーポレートガバナンスなど、ESG(環境・社会・ガバナンス)への取り組みに関する情報も掲載しております。

ヨコレイでは、今後もさらにわかりやすく、充実したホームページを目指してまいります。



TOPページ

IRページ



株主

ひろば



株主総会資料の電子提供制度について

会社法の改正により、株主総会資料が原則ウェブ化されます。

2022年9月1日施行の改正会社法により、2023年3月以降に開催される株主総会から、株主総会資料(招集ご通知)の電子提供制度(ウェブ化)が開始されます。株主の皆さまにおかれましては、当社から通知書面にてご案内するウェブサイトへアクセスすることで、株主総会資料をご確認いただくことができます。当社では2023年12月下旬開催予定の定時株主総会から適用となります。



Q 「書面交付請求」とは?

A インターネットを利用することが困難な株主様を保護するためのお手続きです。お申し出いただいた株主様には発行会社より株主総会資料を書面でお送りします。なお、書面交付請求を行わなくても、URL等を記載した招集通知は必ず書面にて送られます。

Q 「書面交付請求」の受付期限は?

A 当社の株主総会の基準日である2023年9月30日までにお申し出いただくことにより、2023年の株主総会資料を書面で受け取ることができます。

● お問い合わせ先

三菱UFJ信託銀行株式会社
証券代行部

[電子提供制度専用ダイヤル]

0120-696-505

平日 9:00 ~ 17:00 (土・日・祝日を除く)

または、口座を開設されている証券会社へ